

4月

新着本の紹介



青字は児童
書

書名	著者名	内容
劇場という名の星座	小川 洋子	【帝国劇場】 スポットライトを浴びるスター、誰かにとっての特別な一日を支える案内係や売店スタッフ、客席から見えない裏側で上演を支えるエレベーター係や幕内係、そして観客……。劇場を愛し、劇場を作り上げてきた人々の密やかな祈りがきらめく。
ハングマン 鞆匠殺し	中山 七里	すべての被害者の裏には実行犯がいて、すべての実行犯の陰には指示役がいる。その根元にいる黒幕の名は、“ショウ”。闇に紛れたその正体は、警察さえも捉えられない。そして、正しく裁けぬ悪人の背後には、ハングマンが忍び寄る――！
ぬすびと	寺地はるな	鳴海は、菓子メーカーの創業一家から子守役として雇われる。気難しい少年の栄輝と、美しい年上の奥様・彌栄子。ある出来事をきっかけに、彌栄子から「二度と会わない」と突き放され、関係が途絶えてしまう。それから二十年。きっと、ページをめくるたび、あなたは力を取り戻していく。
鈴鹿サーキット殺人事件	竹中 篤通	時速300キロ、4万人の観客にかこまれた衆人環視のサーキット。炎上するマシンから這い出たレーサーは、なぜか胸を刺され死んでいた――。父の罪か、子の宿命か。鈴鹿を舞台に加速する、衝撃の本格モータースポーツ・ミステリー！
呪術師の末裔	楡 周平	倉科礼央は亡くなった名誉教授の研究室から、一冊のファイルを発見。そこにはアマゾン奥地の原住民たちの間で飲まれている「万能薬」の存在が記されていた。礼央はそのレシピを入手し「万能薬」を製造、末期癌だった母親が完治。不治の病も治す万能薬。それを巡って陰謀が蠢き出す！
風を織る 針と剣 縫箔屋事件帖	あさの あつこ	深川の縫箔（刺繍）屋・丸仙の娘、おちえが、不吉な模様の小袖を大店「出雲屋」別邸に届けると、邸内で突然五人の男に襲撃される。同行した丸仙の職人・一居となんとか応戦するが、ふたりの前に老女が現れて――。
明日、あたらしい歌をうたう	角田光代	遺影として飾られていたカリスマ的なミュージシャンの写真を、父と聞いて育った新（あらた）。少女時代ある日、耳にした音楽に救われ、恋に出会って新の母となった、くすか。新が父の真実を知った時、二人の物語が、一つの歌に重なりはじめる――。
山田太郎の話	水沢 秋生	自己主張が苦手なOL、及第点で満足している中学教師、野心を抱くホスト、ブラック企業で病んでしまった青年……。彼らの共通点は、山田太郎に出逢ってしまったこと！山田太郎は、その愚直なまでの姿勢が、かかわっている人間たちを変化させていく。令和のニューヒーローの物語！

どこどこブルーイ さがしてみ
つけるえほん

Bluey

ブルーイのおうちの庭、ビーチ、学校、キャンプ場…
…など、人気エピソードのさまざまなシーンが登場し
ます。すぐに見つかるものから難しいものまで収録し
ているので、未就学児も小学生も楽しめちゃいます。

出版社HPより

【お知らせ】 月刊誌も配架しています。ぜひ、ご利用ください。

■NHKテレビテキスト「囲碁講座」「すてきにハンドメイ

■「ESSE」

